



ひらたに시다より3月号



中庭の桜のつぼみが膨らみ始めました。もう春がそこまで来ていますね！

早いもので今年度最後の月を迎えました。子どもたちと過ごす保育園の生活は毎日いろんなことがあります。小学校に入るまでの6年間ほど体と心が成長する時期はありませんので、子どもたちの成長に驚いたり喜んだりする日々でした。そんな大切な時期に、今年も子どもたちと楽しく幸せな時間を過ごさせていただき、私たち職員も子どもたちと一緒に成長することができました。

それもこれも子どもたちの健やかな成長を願う保護者の皆様の温かいお心に後押しいただき、そしてご協力していただいたおかげです。ありがとうございます。残すところあとわずかですが、一日一日を大切にしながら1年のまとめの日々を過ごしてまいります。



新年おめでとう

新年の集いで一人ずつ今年の決意を発表したときに、ロク

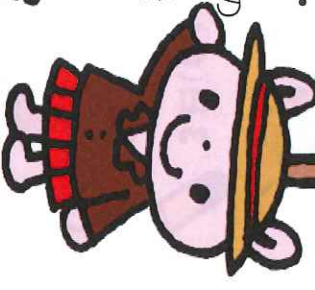
に小学校で頑張りたいことを大きな声で言ってくれました。新しく始まる

小学校生活にワクワク心躍らせている子どもたちの様子を本当にうれしく頼もしく感じています。

今年のぶどう組さんは12名(2月に1名転居され11名)の少人数ク

ラスでしたが、毎日の廊下の雑巾がけや小さいお友だちのお世話、運動会や発表会ではあきらめないでいるんなことに挑戦・・・

どんな時もパワフルで一生懸命！！小さなクラスの憧れの存在でした☆☆☆残りの日々、たくさん保育園の思い出を作ってほしいと思います！



今年もコロナ対策のため、みかん組以上はマスクを着用、保護者の皆様にもたくさんのご協力とご迷惑をお掛けしました。職員もマスクをつけっぱなしですので、小さなクラスの子どもたちは職員の顔を見たことがないと思います。

コロナ禍の子どものストレスについて調査をされた記事をみました。ストレスサインとして、
①よく泣く ②イライラしている ③親の気を引こうとする ④頭痛、腹痛を訴える ⑤食欲減退
⑥夜間覚醒する 以上の6項目の調査をされた結果、「③親の気を引こうとする」が半数以上の比率があったものの、それ以外はそれ程高くはなかったそうです。逆に、より楽しもうとしたり周囲の人にやさしく接したりと、コロナ禍に負けない心的能力(レジリエンス)が高まっている、という結果を示したそうです。

子どもの発達に不安をあおるような内容も見たり聞いたりすることもありますが、心配ばかりしないでみましょうがよいですね。この状況の中、家庭も保育園も大切な子どもたちのために精一杯のことをしてきました。(レジリエンス)とは、「逆境や脅威的な経験にもかかわらず、よい適応を遂げる能力または結果」という意味だそうです。コロナ禍という逆境を経験した子どもたちは、将来逆境を体験することがあっても、それに適応し、しなやかに回復する力がついていることが期待されているそうです。

レジリエンスを高めるには子育ての基本、①温かく優しい声で話しかける
②スキンシップをとる ③子どもが求めることに応える ④何かうまくできた時に一緒に喜び ⑤何かをやるうとしたときには手を出さずに見守る
(危ないこと以外)



など、子どもと一緒に生活を楽しむことがやはり一番ということなのでしょう、あそびや生活の中で親子の楽しい時間が増えるといいですね！



今月の予定



3日(金) ひな祭り誕生会

16日(木)お別れの集い

18日(土)卒園式



20日(月) お弁当の日

30日(木)31日(金) 希望保育(後日希望調査をいたします)



◎運営に関するアンケート調査にご協力ください。より良い運営になるよう検討してまいります。

(3月8日まで回収 box を設置します)